

救急科 後期研修医募集

岡山市立市民病院救急科(E R)と岡山大学病院高度救命救急センターの指導陣が手を組み、一次救急から三次救急まで責任を持って、あなたのキャリアアップをサポートします!

2年間の初期研修終了後、岡山市立市民病院救急科専門医後期研修プログラムに登録し、岡山市立市民病院救急科(E R)と岡山大学病院高度救命救急センター等で研修を積み、さらに希望者には国内留学をして腕を磨くプログラムです。

岡山市立市民病院救急科(E R)と岡山大学病院高度救命救急センターの実力ある指導医の下、それぞれの個性と魅力を活かした研修を通じて、救急医としての医療技術を修得し、救急医としての **First step** を手に入れることができるプログラムです。

岡山市が全面的にバックアップ、あなたのキャリアアップのお手伝いをします。

<到達目標>

「医の原点」である救急医療分野で、論理的思考に基づく診療を経験することにより救急疾患に適切に対応できる医師を育成する。救急科専門医資格の取得を目標とする。

<募集人数>

若干名（各年度 2～3名）

<応募資格>

- 1.初期研修修了者または終了予定者、卒後年数を問わない。
- 2.救急科専門医資格取得を目指す者。

<期間および登録>

必ず日本救急医学会に入会する。

<給与>

週 40 時間相当の勤務が基本で、超過勤務を含めて、岡山市立市民病院の規定に従う。

<勤務形態>

日勤、準夜、深夜の 3 交代勤務が基本だが、状況に応じて変更あり。

他医療施設での研修中の給与は、市民病院と当該医療施設との交渉結果に従う。

<国内留学>

基本的には、岡山大学の関連施設の3次救命救急センターにて補足研修する。

例：岡山大学病院、岡山赤十字病院、津山中央病院、倉敷中央病院、福山市民病院、香川県立中央病院、広島市民病院、岩国医療センター等

ただし、研修医が希望すれば、その他の病院にて国内留学を行うことも可能である。

専修医として1年間が原則である。その場合は、市民病院と当該病院間との交渉が必要になる。(外での研修が2年以上になると、市民病院での本プログラムが成立しない。)

<指導医>

直接指導は、日本救急医学会専門医および、ローテーション中の科の指導医が行う。

救急研修としての最終的な評価は、市民病院救急センター長が行うが、外研修として3次救命救急センターにいる間は、当該施設の救命救急センター長が行う。

<救急医学会専門医試験対策>

基本的には、岡山大学の関連施設の3次救命救急センターにて補足研修する。

補遺：

※プログラムは3年間が基本であり、延長することも可能であるが、短くすることはできない。

※日本救急医学会専門医認定基準：初期臨床研修のうち3か月間を救急部門で研修し、かつ後期研修の各科ローテート中に週1回の救急当直または救急当番を行った場合。

※勤務時間外に、救急患者の緊急カテーテル、内視鏡、手術に入ることは可能である。

<終了後の進路について>

- 1.岡山市立市民病院のスタッフ
- 2.岡山大学病院での大学院生、医員、助教
- 3.subspeciality 修得のための研修
- 4.専門科へ進む

などがイメージされます。

<選考方法>

書類審査(1) 及び 面接試験(2)

(1) 志望動機を記載した履歴書。 ※形式・書式は問いません。

選考後、岡山市立市民病院の規定に準じた書類の提出が必要となります。

(2) 希望日に対応します。

<プログラムに関して>

研修理念および行動目標を達成できることがプログラムの最低条件です。医療の現場はスタッフの数や研修医の数変動するため、画一的なプログラムではなく、目標が達成可能なプログラムを適宜調整することが正しい研修であると考えております。後期研修の有形的目標としては救急科専門医の取得となります。

代表的なプログラムを下に提示いたしますが、研修医の先生の実力・苦手分野などを考え、個別に変更が可能です。

救急科専門医取得のための年次別プログラムの代表例

	1年次		2年次	3年次	4年次
	1ヵ月間	2ヵ月間			
行事	救急学会入会 (非入会医師の場合)				専門医試験
診療体制	監視下	指導下	指導下	症例により 独立	独立
対応患者	主として walk in 症例により救急車	walk in 救急車	walk in、救急車、ドクター同乗		
	単一患者から	複数患者の同時診察			
学習	症候別の診療アプローチ法の修得				
	診断、治療（外来患者、入院患者）				
	手技の修得				
	学会発表（年に2回）、論文作成（年に1回）				
	(未受講の場合) BLS,ICLS,ISLS,JATEC,JPTEC,MCLS,PALS等の受講 希望により DMAT 参加			標準化コースのインストラクター活動	
教育	初期研修医への教育		初期・後期研修医への教育	後期研修医への教育 救急救命士への教育 MCへの関わり	
リーダーシップ			診療現場のサブリーダー	診療現場のリーダー	
その他	循環器内科、整形外科、脳疾患センター、小児科、産婦人科、消化器内科のローテーションは必須、他科のローテーションは希望により選択				
	超音波検査、画像診断、眼科、耳鼻科は週に数回の研修で診療能力と手技を獲得				
				希望に応じて学外研修(集中治療、僻地医療など)	

研修内容の詳細（各科ローテーションの実際）

	フルタイム研修	期間	パートタイム研修
1年次	救急科	6ヵ月	超音波検査、画像診断 眼科
	循環器内科	2ヵ月	
	整形外科	2ヵ月	
	総合内科	2ヵ月	
2年次	救急科	6ヵ月	超音波検査、画像診断 耳鼻咽喉科
	脳疾患センター	2ヵ月	
	小児科	2ヵ月	
	麻酔科	2ヵ月	
3年次	救急科	6ヵ月	超音波検査、画像診断
	消化器内科	2ヵ月	
	産婦人科	2ヵ月	
	外科	2ヵ月	
4年次	救急科	6ヵ月	超音波検査
	他施設 ER	3ヵ月	
	自由選択	3ヵ月	

★黄色枠の診療科へのローテーション研修は必須。他は選択が可能。

災害医療・集中治療・病院前医療・僻地医療に関しては、全員に必要最低限の研修は受けられます。もしも、当該領域への熱い思いが覚醒した場合には、より深く研修を行っていただけます。（場合によっては他病院へ協力を依頼し、研修していただきます。）

災害医療：当院は災害拠点病院であり災害医療への取り組みも行っております。災害医療に興味ある先生は DMAT 訓練への参加を通じて、より深い勉強をしていただきます。

集中治療：当院は ICU6 床、HCU4 床を稼働させております。現時点では、いずれも open type の運用ですので、主治医制となっております。ER 型救急を研修中に集中治療型救急への関心が高くなった場合には、他の三次医療機関への短期研修を計画しております。

病院前医療：救急隊との密に連携を取るために病院前医療に関する知識も深めてもらいます。興味に応じて MC への参加、現場医師派遣などの研修も可能です。

僻地医療：県北の医療過疎地への医療提供を行っております。興味に応じて短期間の僻地医療実習も可能です。

各種の標準化コースに関して

BLS、ICLS、ISLS、JATEC、JPTEC、MCLS、PALS等の活動を行っております。
未受講の先生に関しては受講していただき、標準化コースの内容を理解していただきます。
以降は3年次に興味のある分野へインストラクターとして参加していただきます。

BLS (Basic Life Support) : 一次救命処置トレーニング

ICLS (Immediate Cardiac Life Support) : 医療従事者のための蘇生トレーニング

ISLS (Immediate Stroke Life Support) : 神経救急蘇生トレーニング

JATEC (Japan Advanced Trauma Evaluation and Care) : 外傷初期診療教育プログラム

JPTEC (Japan Pehospital Trauma Evaluation and Care) : 病院前外傷教育プログラム

MCLS (Mass Casualty Life Support) : 多数傷病者への対応標準化トレーニング

PALS (Pediatric Advanced Life Support) : 小児二次救命処置プログラム

ER型救急短期研修に関して

「救急専門医の取得までは考えていないが、ER型救急を短期間学びたい」

「初期研修で救急をあまり学べなかったので、専門科に行く前に短期間だけ学びたい」

「近い将来開業する予定であるが、その前にER型救急を短期間学びたい」

などという声があるため、短期間限定プログラムを実施しております。

期間は1年間または2年間の計画です。

下記にプログラムの一例を提示しますが、ローテーション科に関しては相談により決定します。

1年間みの研修プログラムの例

	フルタイム研修	期間	パートタイム研修
1年のみ	救急科	12ヵ月	超音波検査、画像診断

	フルタイム研修	期間	パートタイム研修
1年のみ	救急科	6ヵ月	超音波検査、画像診断
	循環器内科	2ヵ月	
	整形外科	2ヵ月	
	総合内科	2ヵ月	

2年間のみの研修プログラムの例

	フルタイム研修	期間	パートタイム研修
1年次	救急科	8ヵ月	超音波検査、画像診断 眼科
	循環器内科	2ヵ月	
	整形外科	2ヵ月	
2年次	救急科	8ヵ月	超音波検査、画像診断 耳鼻咽喉科
	小児科	2ヵ月	
	産婦人科	2ヵ月	

	フルタイム研修	期間	パートタイム研修
1年次	救急科	10ヵ月	超音波検査、画像診断 眼科
	循環器内科	2ヵ月	
2年次	救急科	10ヵ月	超音波検査、画像診断 耳鼻咽喉科
	脳疾患センター	2ヵ月	

後期研修医希望者を対象にした見学は随時受け付けております。

まずは一度見学に来ていただき、当院の研修風景の見て頂くのがよいかと思います。

見学希望の方、疑問点等あれば上記の臨床研修担当へお気軽にご連絡下さい。

救急センター センター長 桐山英樹